

入場  
無料

日時

2017/

11/23

(木・祝)

13:30~16:30

会場

金沢大学

サテライト・プラザ

金沢市西町三番丁16番地



# 高齢者の 「いま」と 「これから」

[お問合せ先]

金沢大学地域連携推進センター

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5272, 5273

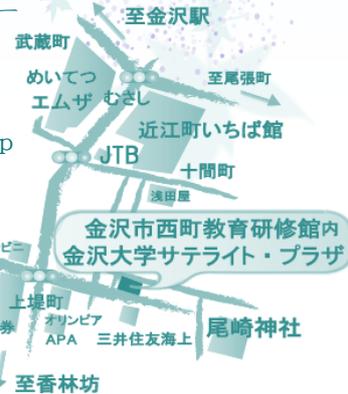
FAX 076-234-4045

E-mail

kaihou@adm.kanazawa-u.ac.jp

[主催] 富山大学/  
金沢大学/福井大学/  
北陸先端科学技術大学院大学

[後援] 富山県教育委員会/  
石川県教育委員会/  
福井県教育委員会



講演  
1

## 「高齢者の社会参加と健康 ～『居場所』と『出番』のみつけ方～」

福井大学医学部看護学科 米澤 洋美 准教授

生涯現役で自分らしく過ごしたい。誰もが願うことです。はたらくこと、地域の役に立つこと、仲間と趣味を楽しむことは、健康維持や介護予防に繋がるといわれています。さらに、同世代やその他の世代を支える社会の担い手として貴重な存在です。中でも団塊世代(1947～49年生まれ)は、大量退職の2007年問題、75歳を迎える2025年問題など、何かとその動向が注目されています。今回は退職後の社会参加と健康との関連について、シルバー人材センターでの健康づくりや北欧高齢者の社会参加の実態をふまえて生涯現役で自分らしく過ごす秘訣を探ります。

講演  
3

## 「介護されても 自分らしく生きる技術」

北陸先端科学技術大学院大学  
先端科学技術研究科(知識科学系)  
藤波 努 教授

老いて益々自分らしさを追究するには住み慣れた家で暮らす方がよいでしょう。しかし頭や体が弱ってくれば他人の力を借りざるを得ません。そのとき情報通信技術を使って自立する途もあるでしょう。人や機械に依存する状態となって、なお「私らしい」生き方を貫くとはどのようなものなのか。食事や排泄、入浴、睡眠で介助されるようになっても自尊心を保ち、自分らしくあるためにはどうしたらよいのかを考えてみましょう。

講演  
2

## 「心を元気にする 高齢者のファッション」

富山大学人間発達科学部人間環境システム学科  
孫 珠熙 准教授

老人病院などのあまり変化のない環境で毎日過ごしている高齢者に、衣・食・住分野で唯一差別化ができ、自分らしさの表現が可能なのは「装う」ことです。デイケア高齢者を対象に、自身をモデルとしたミニ・ファッションショーを開催し、好きな衣服を選んで着用してみる体験を行ったところ、体験後は笑顔、気分が前向きになるなど、ポジティブな変化が見られました。地域で取り組む介護予防の実践研究への発展を期待しています。オシャレ意欲は気持ちが落ち込んだときに、気分を高めてくれます。心を元気にしてくれる服の力について考えてみませんか。

講演  
4

## 「相続の『いま』と『これから』」

金沢大学人間社会研究域法学系  
宮本 誠子 准教授

遺産相続は「いま」、トラブルとなることが増えてきています。問題を遺族だけでは解決できず、家庭裁判所に持ち込むケースも少なくありません。家族が争わないようにと、遺言を用意する高齢者も増えていますが、その遺言によってトラブルが生じてしまうこともあります。遺産相続をめぐるトラブルの背景には何があるのでしょうか。トラブルを避けるために、高齢者や家族ができることは何でしょうか。「これから」の相続がトラブルと無縁なものとなるよう、考えてみたいと思います。